

久留米

通高 信専

第70号

[JULY 19, 2012]

久留米工業高等専門学校企画主事室
〒830-8555 久留米市小森野1-1-1
TEL:0942-35-9300
<http://www.kurume-nct.ac.jp/>



久留米工業高等専門学校
校長 上田 孝

新入生への言葉 「一日一生」

咲き誇る桜の下で皆さんが入学してから、4か月近くが経ちました。入学式の告辞で紹介した「光陰矢の如し」のとおり、早くも1年の3分の1が過ぎたわけです。

入学したばかりの頃は、卒業までの5年という年月は長いように感じますが、現実には瞬く間に過ぎてしまいます。単に授業を受けて、定期試験を何とか乗り越え、カリキュラムをこなして卒業するというのでは、波任せに漂流する船と同じで、いつ、どこに到着するのか分かりません。しっかりと自分で舵を取って、自分で漕いでいくことが重要です。新入生合宿研修の開講講話でも述べたように、同世代の人たちが大学受験の勉強に追われている時に、自由な時間を活用して何かを力いっぱいすることができる高専生活のアドバンテージを、流されずに、積極的に活かして欲しいと思います。

実り多き高専生活にするには、卒業までに成し遂げたいことを明確にして、その達成のための1年ごとのマイルストーンなどを定め、そこに至る一日一日を全力投球していくことが大切です。

万有引力を発見したニュートンは「今日なしうることだけに全力をそそげ。そうすれば明日は一段の進歩を見るだろう。」という言葉を残しています。また、中間子理論を発表し、我が国最初のノーベル賞受賞者となった理論物理学者の湯川秀樹博士の「一日生きることは、一歩進むことでありたい。」という言葉には、一日一日を無駄にせず、前進することへの固い決意を窺うことができます。

「一日一生」という言葉があります。今日の一日を自分の一生だと思って、毎日を充実して過ごすということです。明治・大正期のキリスト教思想家である内村鑑三の著書『一日一生』には「一日は貴い一生である。これを空費してはならない。」と書かれています。

また、比叡山の山中などを7年がかりで通算して千日間歩き、9日間の「断食、断水、不眠、不臥の行」などの超人的な荒行

を行う「千日回峰行」を2度満行するという偉業を達成した天台宗の僧侶、酒井雄哉大阿闍梨も『一日一生』という同名の著書の中で、「一日」を中心にやっていくと、今日一日全力を尽くして明日を迎えようと思える、一日、一日と生きていくことが大事であると述べています。

なにも常にハイ・テンションで、四六時中張り切って過ごそうと言っているわけではありません。だからと、ただ何となく、無為に時を過ごすのではなく、主体性を持って、休むときは精一杯休み、楽しむときは存分に楽しみ、勉強するときは最大限集中して、充実した一日を毎日積み重ねて往くということです。

実際、札幌農学校(現北海道大学。初代教頭を務めたクラーク博士の「少年よ、大志を抱け」は良く知られている。)に入学してクリスチャンになった内村鑑三は、学友の新渡戸稲造や宮部金吾らとともに、キリスト教の安息日である日曜日は教会に通って、学業は休むことに徹しましたが、卒業時には成績優秀で表彰されたそうです。

「一期一会」(いちごいちえ)という言葉も同様です。「一期」は仏教用語で人が生まれてから死ぬまでの間を、「一会」は一つの集まりや会合を意味し、どの茶会も一生に一度の又となない機会であり、招いた方も招かれた方も互いに誠意を尽くすという茶道の心得を表したのですが、茶会と同様に、今日という一日も、人生の中でかけがえのない大切な一日なのです。

皆さんが、高専で勉強や卒研、クラブ活動、学校行事の企画運営、学外の各種大会・コンテストへの参加など、いろいろなことにチャレンジして、自己の能力の可能性を証明されることを期待しています。そして、単に行事を「行った」とか、クラブで「頑張った」というのではなく、それらを通じて将来にわたって自分の人生を支え、自信を与えてくれるバックボーンとなるものを得られることを念願してやみません。

新入生の抱負

合宿研修の感想

機械工学科 1年 中隈 昂太郎

僕は夜須研修で自主性の大切さを学びました。初日のウォークラリーでは僕の班は六人でしたが、事前に渡されたのはコンパスと地図だけで、まずは意見を出しあってルートを決めました。しかし誰かが手を抜いたり、寄り道をしたら班に迷惑をかけるので、各自が自主的に判断して協力し合う必要があります。僕はどちらかというと動きが鈍く、行動範囲を少なくしてもらいました。今考えると申し訳なかったと思いますが、みんなの行動をみていて、自主性には責任がともなう事を学ぶことができました。朝夕の集いで、遊びに熱中し、集合時間に遅れる人がいました。時間を守るには、行動を自分なりにコントロールしなければならぬと知りました。

一年代表として学校紹介を任せられ、あらかじめ内容も準備していたのに、紹介の順番を勘違いして、突然の指名に頭が真っ白になり、短かすぎる学校紹介になってしまったのが心残りですが、これからは学校生活のいろんな場面で自主的に考え、行動したいと思います。

今回の夜須研修を終えて

電気電子工学科 1年 奈須 意匠

今回の夜須研修を体験して感じたことは、「友達の大切さ」です。その理由は、久留米高専に来て友達という友達がなくて寂しかったけど、夜須研修のウォークラリーや、お風呂、学科対抗レクリエーションを通して、電気科や他の学科の人とも仲良くなることができました。友達がいるのといないのでは、全然楽しさが違いました。

この経験を大事にして、友達を無くさないようにしたいです。友達の思いやる心を忘れないで過ごしていきたいです。

合宿研修と高専生活

制御情報工学科 1年 吉田 涼一郎

一泊二日で行った夜須への合宿研修は、とても楽しく、これからの高専生活で大事なことを学ばせてくれるものになりました。まず、一日目では校長先生の講話やフィールドワーク、同じ科の先輩の学科紹介などがありました。一日目の中では、特に同じ科の先輩方の話が大変自分のためになりました。次に、二日目では各学科対抗でレクリエーションをしました。風船運びや綱引きなどの競技があり、制御情報工学科は、平衡感覚を競う競技で一位を取ることができました。その時に、自分がアンカーとして帰ってきて、ふらふらになりながらも、みんなが高専健児をやりました。この瞬間に、少しだけクラスの結束が強くなった気がしたので、級長としてもクラスの一員としても、とても嬉しかったです。このように、色々な楽しいことがあったので有意義な合宿研修だったと思います。そして、この研修で学んだことを活かしてこれからの高専生活を楽しくしていきたいです。

高専生活における目標と抱負

生物応用化学学科 1年 平田 有里恵

入学したときは、環境が一変したこともあり、ここでうまくやっていけるかどうか不安を感じていました。しかし、夜須研修に参加したことで、それまで話したことのないような人たちとも仲良くなったので、これを機に、よりいっそう久留米高専で頑張ろうと思えるようになりました。友人との絆が特に深まったのはオリエンテーリングでしたが、楽しかった反面、体が思うように動かず悔しい思いもしました。

それを踏まえて、私は久留米高専では体調の自己管理を一つの目標とし、今後無遅刻無欠席を達成したいと考えています。さらに、自分でしっかりと体調管理をしながら、毎日少しずつでもこつこつ勉強していくことも合わせて目標としたいです。6月に中間テストがありましたが、それまで宿題しかしていなかった私にとって、テスト期間の勉強は相当きつくてしんどいものとなりました。だから、これからは日々の勉強を重視し、テストには万全の態勢で臨みたいと思います。

これから五年間、壁にぶち当たったり、辛いことがあったりするかもしれません。けれどそれ以上に、楽しいことや新しい発見が待っているということが、今回の夜須研修を通して確信できたので、高専生活をEnjoyできるように頑張っていきたいです。

夜須研修から得たもの

材料工学科 1年 三浦 桃貴

今回の夜須研修では、校長先生のお話があり、到着してからフィールドワークをして、学科紹介などをしました。その中でも一番楽しかったのは、やっぱりフィールドワークです。フィールドワークは、自分たち1Mの最初の団体競技でした。みんなが地図を見て話し合い、協力してゴールしました。夕べの集いでの結果発表では、材料工学科が優勝して、景品のお菓子をもらいました。みんなで勝ち得たお菓子は美味しかったです。仲間を信じて協力して行動することは大切だと思いました。



新任紹介



川上 雄士(かわかみ ゆうじ)
職名 材料工学部 教授
 (平成24年4月1日付)
前職 佐賀県工業技術センター
 研究企画課長
抱負 先生として将来の日本を背負って立つ優秀な技術者をたくさん育てられるように、自分の持てる力の限り頑張ります。初めての教職なので、分からないことがたくさんあります。皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。
趣味 音楽、熱気球(パイロットです。)



松山 清(まつやま きよし)
職名 生物応用化学科 准教授
 (平成24年4月1日付)
前職 福岡大学工学部化学システム工学科 併任講師
抱負 こちらに赴任しまして、皆様には大変親切にしてもらっております。高専の仕事に早く慣れまして、少しでもお役に立てるようになりたいと思っています。どうかよろしくお願ひします。
趣味 子供の野球教室の手伝い(野球は下手です。)



大津 健史(おおつ たけふみ)
職名 機械工学科 助教
 (平成24年4月1日付)
前職 九州大学大学院工学府
 機械科学専攻博士課程
抱負 教育に携わる仕事は初めてとなりますが、いろいろなことに学生と一緒にチャレンジしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。
趣味 サッカー



篠島 弘幸(しのじま ひろゆき)
職名 一般科目(理科系)教授
 (平成24年4月1日付)
前職 NTTマイクロシステムズ
 グレーション研究所ナノシリ
 コン研究グループ
 主任研究員
抱負 毎日が驚きの連続で、ここまで早2ヶ月が経ってしまいました。これまでのところ講義の準備だけで手一杯の状態が続いていましたが、そろそろ何か始めたいと思います。御指導、御教示よろしくお願ひ致します。
趣味 絵や写真や古い建築物を見ること。



伊藤 公毅(いとう こうき)
職名 一般科目(理科系)准教授
 (平成24年4月1日付)
前職 マックス・プランク研究所
 客員研究員
抱負 これまで、工業高等専門学校では非常勤として教えたことしかございません。常勤教員として為すべきことを、御先輩がたから学びつつ、勤めてまいりたいと思います。業務をきちんと把握するまでは、私の至らぬことから皆様にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願ひいたします。
趣味 酒吟(主に醸造酒)



堺 研一郎(さかい けんいちろう)
職名 制御情報工学科 助教
 (平成24年4月1日付)
前職 三菱重工(株)
 長崎プロジェクト推進部
抱負 自分自身が教育・研究に専心努力することはもちろんですが、進路相談や悩み相談なども含めて広く学生さんと関わっていきたく考えています。よろしくお願ひ致します。
趣味 音楽鑑賞、旅行、スポーツクラブ、サッカー観戦など

新任紹介



川嶋 克利(かわしま かつとし)
 職名 一般科目(理科系)助教
 (平成24年4月1日付)
 前職 広島修道大学学習支援センター 学習アドバイザー
 抱負 九州に来たのは、中学生のときの修学旅行以来です。教育・研究に精力的に取り組みたいです。
 趣味 将棋



三原 和弘(みはら かずひろ)
 職名 総務課長
 (平成24年4月1日付)
 前職 佐世保工業高等専門学校 総務課長
 抱負 真剣に取り組む
 趣味 利き酒、遊び全般



川原 秀夫(かわはら ひでお)
 職名 機械工学科 准教授
 (平成24年4月1日付)
 前職 大島商船高等専門学校 商船学科准教授
 抱負 2年間の人事交流で久留米高専に参りました。限られた時間ですが、教育改善や研究など何事にも積極的にチャレンジして、たくさんのお話を吸収して帰りたいと思っています。よろしくお願いします。
 趣味 登山(九州の山をぜひ登って見たいと思っています。)



磯田 信一(いそだ のぶいち)
 職名 学生課長
 (平成24年4月1日付)
 前職 熊本高等専門学校 熊本キャンパス 学生課長
 抱負 楽しく仕事をしたいと思っています。また、入りやすくて垣根の低い学生課にできればと思います。
 趣味 スポーツ(テニス、ソフトボール)、読書、映画、散歩です。筑後川河川敷の散歩は、本当に気持ちいいです。



松野 哲也(まつの てつや)
 職名 電気電子工学科 教授
 (平成24年4月1日付)
 前職 有明工業高等専門学校 電子情報工学科教授
 抱負 一人でも多くの学生さんに、電子工作とプログラミングの面白さを実感してもらいたいため、「パーツ屋へ行こう!」という名前の必修科目を新設し、電気電子工学科の全ての卒業生は電子部品の購入体験、すなわち、「お皿」(スーパーで言うところの買い物カゴ)を持って電子部品を探して店舗内をうろうろした経験をしている、という状況を作ることを妄想、もとい、構想しております。地域の電子部品屋さんという「絶滅危惧種」を救うことにもつながり一石二鳥と思います。はたして実現可能か?久留米高専なら、きっとできる?
 趣味 SFを読むこと。ドライブ。



藤川 眞一(ふじかわ しんいち)
 職名 総務課課長補佐(財務担当)
 (平成24年4月1日付)
 前職 九州大学施設部 施設企画課総務係長
 抱負 大学の会計事務は30年以上やってきましたが、高専の事務は、初めての体験です。一刻も早く業務を覚えて、皆様のお役にたちたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
 趣味 年2回の旅行
 休日は、実家で稲作と畑作をやっています。…趣味じゃないかも(*^o^*)

新任紹介



高田 康晴(たかだ やすはる)
 職名 総務課人事・労務係
 (平成24年4月1日付)
 前職 九州大学医学研究院眼科学
 研究補佐員
 抱負 まだ業務に不慣れですので
 早く仕事を覚えたいと思
 います。ご迷惑をおかけす
 ると思いますが、よろしくお
 願います。
 趣味 釣り



緒方 義信(おがた よしのぶ)
 職名 学生課図書係 事務補佐員
 (平成24年3月16日付)
 前職 九州大学附属図書館職員
 抱負 九州大学と都城高専の図書
 館で仕事をしてきました。長
 い期間だけが取り柄ですが、
 何かお役に立てればと思
 います。不慣れなため、ご迷
 惑をお掛けすることがある
 と思いますが、どうぞよろ
 しくお願い致します。
 趣味 スポーツ観戦、カラオケ
 特に野球は高校野球から
 プロ野球まで観戦するのが
 大好きです。自身では地域の
 ソフトチームで時々選手、試
 合後の懇親会を楽しんで
 ます。



沖 和子(おき かずこ)
 職名 総務課用度係 事務補佐員
 (平成24年4月1日付)
 前職 神奈川県立向の岡工業高等
 学校 非常勤職員
 抱負 皆様のお名前とお顔を覚え
 て少しでも皆様のお役に立
 てるように頑張りたいと思
 います。よろしく願います。
 趣味 ソフトバンク観戦、読書

留学生紹介



機械工学科3年
 サラ

私は、マレーシアのトランガヌから来た留学生のサラです。
 私の兄弟は、私を入れて7人で私は5番目です。私の趣味は、
 音楽を聴くこととアニメを見ることです。

日本に来る前に2年間、マレーシアで日本語や英語や数学
 などを勉強しました。それから文部科学省の試験に合格して、
 日本へ来ることができました。

福岡に着いたときは春で、初めて自分の目でとても美しい
 桜を見て、すごくうれしかったです。それだけでなく、久留米
 はきれいな所なのでほんとうにすばらしいと思いました。

私は、久留米高専で一生懸命勉強したいです。勉強だけで
 なく日本の文化や習慣ももっとよく知りたいです。

だから、皆さん私ともっと話してみてください。よろしくお
 願います。



電気電子工学科3年
 シャフワン

はじめまして、私はマレーシアから来ました留学生のシャ
 フワンです。2010年の5月から2年間、マレーシアのマラ
 工科大学の日本語予備学校で日本語を学びました。その次は、
 今年の1月に文部科学省の試験を受けて、合格しました。その
 おかげで、今年の4月からこの久留米高専の電気電子工学科
 の3年生として編入学することになりました。

私は日本のアニメと漫画が好きです。その理由で、日本に留
 学することを決めました。私より優れている多くの学生がい
 るため、政府が留学したい学生のための奨学金について発表
 したとき、私はあまり期待していませんでした。しかし、私の
 名前が採択されたとき、私は本当に感謝しました。私は私の夢
 に一歩近づけるように思えたからです。

私はこの高専で過ごした日々はまだ3ヶ月しかありません
 が、この高専に留学できて本当によかったと思います。クラス
 メートは面白くて、先生方にも本当に助けていただいています
 す。私はこの高専を卒業するまで、皆さんと一緒に楽しい高専
 生活を過ごしたいと思います。よろしく願います。

留学生紹介



生物応用化学科3年
オトグ ナンサルマー

私のニックネームはナンサーです。私はユーラシア大陸の中央にあるモンゴルという国から来ました。モンゴルには牧畜をしている人がたくさんいます。私も牧畜をした経験があります。

私は去年の4月に来日して、東京日本語教育センターで1年間日本語の勉強をしました。今年4月から久留米高専の生物応用化学科の3年生になりました。3年前から、日本で工学を学ぶことに夢を抱いていました。その夢が実現して、久留米高専の学生になれて本当にうれしいです。

久留米高専での3年間を通じて、勉強のことだけでなく、日本の文化、日本とモンゴルの同じ点や違う点などをもっと深く理解し、視野を広げていきたいです。日本人の友達もたくさん作りたいです。

女子寮新設に関して

材料工学科4年 小川 ゆいか

今年から久留米高専内に女子寮が新設されました。高専卒業生により、「つつじ寮」と名付けられました。この女子寮には、つつじの花のように、笑顔をプレゼントしてくれる元気で可愛い女の子がたくさん入寮しました。しかし、近くから来た人もいれば、遠くから来た人もいて、いろいろな個性を持った人ばかりです。女子寮が開かれて2か月と半分、その一人一人に興味をわき、人格の意外性に驚かされる日々です。

寮に入ったことで、部活や勉強に集中でき、そして自分の時間も多く取れるようになりました。個人的には、長かった電車の時間がゼロになり、うれしい限りです。1、2年生は週に2回、お勉強パーティーがあり、ちゃんと勉強ができているようで、定期試験のときもみんなで助け合ってテストに挑んでいました。

女子寮内は清潔で快適でセキュリティ万全です。出入口はオートロック、各階にはルンバが徘徊、オール電化、エコキュート、1階の多目的室では共同キッチン、冷蔵庫、電子レンジ等、十分すぎるほどの設備が整えられています。しかし、まだ女子寮内のルールなどが不完全なため、これから少しずつ作っていかなくてはなりません。女子寮生全員が快適に生活できるよう、問題が生じたときにはそれを一つ一つ解決し、女子寮内の規則を組み立てていきます。男子寮の役員の方々、また先生方も女子寮に必要なものはないか、不具合が生じていないか、熱心に考えて下さって、本当に有難い気持ちでいっぱいです。その気持ちに応えられるよう、女子寮生一同、この寮生活を精一杯楽しんで、充実したものにしたいと思います。



国際交流

日韓交流行事～小森野・春の陣～

学生会中央執行委員会委員長
機械工学科5年 竹之内 皓宏

去る5月23日、韓国の東亜マイスター高校と本校との交流行事が行われました。かねてより交流のあった両校ですが、昨年度同様、今年度も100名ほどの東亜マイスター生に本校を訪問していただきました。交流行事には本校の学生有志90名程が参加し、学生会中央執行委員が中心となって行事運営を行いました。

第一体育館内で行われた交流行事は、両校の学校紹介より始まり、東亜マイスター生により、伝統芸能の太鼓演奏に現代音楽を織り交ぜた演奏パフォーマンス、テコンドーの型や殺陣の披露をしていただきました。この日のために二ヶ月も練習をしていたいただいたパフォーマンスは圧巻の迫力で、本校学生や教職員の方々より、大きな歓声や拍手の起こる場面も多々ありました。

本校からは、先日の学生大会で正式に発足されたダンス愛好会の学生に息の合ったダンスを披露してもらい、東亜マイスターの学生からも驚きの声と賞賛の歓声があがりました。

その後レクリエーションとして、両校の学生を混在させたチームをいくつかつくり、チームごとに長縄跳びを行いました。連続して跳んだ回数毎に順位をつけるもので、各チームどうすればうまくとべるのか、言葉は通じないながらも、お互いにジェスチャーや拙い英語をつかったコミュニケーションを図る様子が見られ、ほほえましいながらも、エンジニアの卵同士の小さな国際交流を垣間見ることができました。

終始笑顔の絶えない交流行事とすることができ、こうして外国の工業校生と学生のうちに交流することで、参加者学生たちのエンジニアとしての将来に、良き影響となる一石を投じることができたのであれば、学生会長としては非常に嬉しく思います。行事に参加していただいた学生のみなさん、運営にあたりご協力いただいた教職員の方々に、この場をかりて深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

公開授業

平成24年度公開授業の実施に思うこと

教務主事
馬越 幹男

4月23日(月)～25日(水)の3日間、保護者の皆さんを対象とした公開授業を実施しました。実験、実習以外の本科の授業を自由に参観できるものです。参加された保護者の延べ人数は、平成22年度58名、平成23年度113名、平成24年度128名で、今年度の学年別の内訳：1年78名、2年35名、3年8名、4年5名、5年2名からは、学年の進行とともに保護者の皆さんの子離れが進み、学生諸君も自立の道歩んでいることが読み取れます。この結果は、本校の学生諸君の年齢から考えれば十分に予想されることで、教育理念の根幹を成す「自立の精神」が実践されていることを物語っているとすれば、喜ばしいことです。

アンケートをまとめてみますと、実施期日、教員の説明、学生諸君の受講態度について、それぞれ90%以上の保護者の皆さんから良好な評価をもらっています。新学期早々の実施ですから当然かもしれません。コメントの中には、学生の勉強態度や教室の清掃に関するご要望もあり、アンケートの集計結果は教員に周知して次年度の参考にしたいと考えています。

しかし、現実にはそれほど甘くはありません。不況下にあっても慢性的に技術者不足であり、本校への求人者数は今年度すでに1,800名を越えています。ところが、技術者の技術が高度化し、企業がグローバルに活動するため、採用に当たっても以前のように数を揃えることよりも即戦力としての資質を求めるようになり、苦戦を強いられる学生もおります。

もともと学年の進行とともに授業の内容が難しくなり、プロフェッショナルな技術者への道は容易なものではありませんが、大変残念なことに最近の3年間の留年・退学者数は毎年80名を越え、顕著な学力の二極化が見られます。成績が振るわないのには様々な理由があり、回り道や道草をしても構いませんが、公開授業の結果が名実をともに表すように、学生諸君には真に「自立」への道をよく考え、歩んでほしいと強く望みます。



平成24年度九州沖繩地区高専体育大会日程予定表

担当校	種目	会場	7月 13日 (金)	14日 (土)	20日 (金)	21日 (土)	22日 (日)
大分工業高等専門学校	陸上競技	大分市営陸上競技場				○	○
	ソフトテニス	大分スポーツ公園だいぎんテニスコート (雨天時 別府市総合体育館「べっぷア リーナ」)				○	○
	バドミントン	別府市総合体育館「べっぷアリーナ」				○	○
	水泳	別府市営青山プール				○	○
	ハンドボール	・大分市コンパルホール体育室 ・大洲総合運動公園大分県立総合体育館				○	○
	硬式野球	・久留米市野球場 ・小郡市野球場 ・大牟田市延命球場			○	○	○
	バスケットボール (男・女)	・大牟田市民体育館 (男子第1日、男女第2日) ・大牟田市第二市民体育館 (女子第1日)				○	○
	卓球	桃田運動公園総合体育館				○	○
	剣道	有明高専第1体育館					○
	サッカー	・熊本県民総合運動公園スポーツ広場 ・熊本県民総合運動公園補助競技場 ・大津町運動公園球場			○	○	○
熊本高等専門学校 (熊本キャンパス)	柔道	熊本武道館				○	○
	バレーボール (男・女)	山鹿市総合体育館				○	○
	テニス	熊本県民総合運動公園パークドーム	○	○			
担当校	種目	会場	11月 10日 (土)	11日 (日)	12日 (月)	13日 (火)	
大分工業高等専門学校	ラグビーフットボール	・湯布院スポーツセンター ・大分市営野球場	○	○		○	

平成24年度役職者・学級担任等一覧

- ◆教務主事 馬越
- ◆学生主事 櫻木
- ◆寮務主事 江カ
- ◆専攻科主事 松永
- ◆企画主事 津田
- ◆学科長
- 機械工学科 原田
- 電気電子工学科 池田
- 制御情報工学科 江頭
- 生物応用化学科 中島
- 材料工学科 田中慎
- 一般文科 福田か
- 一般理科 山崎
- ◆就職主任
- 機械工学科 和泉
- 電気電子工学科 長田
- 制御情報工学科 綾部
- 生物応用化学科 富岡
- 材料工学科 笹栗

◆学級担任教員

学科	学年	1	2	3	4	5
機械工学科	平元	大津	南山	石丸	田中大	
電気電子工学科	宮本久	米永	原	山口	大崎	
制御情報工学科	赤塚	篠島	松本	小田	熊丸	
生物応用化学科	藤木	谷	渡邊	泉本	富岡	
材料工学科	高橋	岡本	川上	山本郁	濱上	

学科	学年	1	2
機械・電気システム工学専攻	丸山	越地	
物質工学専攻	奥山	石井	

◆学生相談室

- 室長 (笈木)、相談員 (山口、久保、岡本、菰田)、野田看護師、穴井カウンセラー、近間相談医
- ◆キャンパス・ハラスメント相談員
- 学生相談室長 (笈木)、原田、長田、小田、川上、福田か、酒井、江島真、井手、馬田、野田看護師

学校行事

文化部発表会、始めました。

第1回文化部発表会実行委員会委員長
電気電子工学科4年 小島 大空

6月23日(土)に「第一回文化部発表会」が開催されました。当日は天候の影響も少なく、無事に文化部発表会を終えることができました。昨年度、大きな問題となった暑さに関して、来場者にうちわを配布し、体育館内の換気をこまめに行うことによりかなり解消されました。そのおかげあってか、来場者数は昨年度の約500人をはるかに上回る約900人の来場者を確認しており、我々実行委員としても大変満足しています。

今年度文化部発表会は、昨年度までの音楽祭をベースに新たな事に取り組んでまいりました。まず、第一、第二体育館に文化部の展示ブースを設置しました。合計9の文化部のブースを設置しており、日ごろの部活動の成果を紹介しました。ステージイベントにも手を加え、団体枠、展示物紹介の時間を設け、さらに今回は、地元アイドルグループ「QunQun」にも文化部発表会に出演していただきました。これまでメインであった音楽系部活動だけでなく、バリエーションに富んだものになりました。そして、音楽祭から引き続き行われた「一年生コンテスト」も例年以上の盛り上がりを見せ、これからの高専の担い手となる彼らに頼もしさを感じました。どのクラスも笑顔で楽しそうにイベントに参加してくれたことが何よりもうれしかったです。

昨年度の代議員会から数えると約4カ月の準備期間の中、数々の試行錯誤を繰り返し大成功に終わった文化部発表会。たくさんの方々のご協力あってこそ成り立った文化部発表会だったと思います。最後に当日ご来場いただいた皆さん、文化部発表会にお越しいただき本当にありがとうございました。



クラスマッチを終えて

中央執行委員会体育局 局長
別府 龍平

5月8日の昼から5月9日にかけて、本校の各所で前期クラスマッチが開催されました。学生の日頃の行いのおかげか、両日も天候に恵まれどの競技も滞りなく進行していきました。さて、我が校のクラスマッチでは、クラス単位で参加する種目としてサッカー、バスケ、バレーボール、大縄跳びを行っており、その他に女子学生を対象とした競技として女子ドッジボールと女子バレーボールを行っています。今年度に入って初のクラスマッチであったからか、どの競技も白熱した試合が行われており、特に下級生が上級生に対して学年の壁を感じさせないような試合が多く見られました。

各競技の優勝チームは、サッカーは4年機械、バレーは4年材料、バスケの1年生の部は電気、2年生の部は生化、3年生の部は機械、4年生の部は材料、5年生の部は生化、大縄は3年生化が31回跳んで優勝しました。優勝チームには金券が手渡され、早速購買に行く学生の姿も見られました。今回勝利することができなかったクラスも、めげることなく後期のクラスマッチでは良い試合をしていただきたいと思います。



日本情報オリンピック大会に参加して

制御情報工学科3年
福永 隼也

今年の2月、学年末テストの前日と前々日に日本情報オリンピックの本選が東京で開催されました。情報オリンピックは、与えられた問題に対して、制限時間内に正しい答えを返すプログラムを作成する競技プログラミングの大会です。日本ではまず予選が行われ、その後、予選を通過した人たちが本選が行われます。本選の成績優秀者が国際情報オリンピックの日本代表を選抜する合宿に参加し、そこで選抜された3名が日本代表となります。

情報オリンピックは中高生のための大会なので、国際大会が開催される時点で高校3年生相当、つまり本選の時点では2年生までしか参加できません。私は2年生だったので今回が最後のチャンスでした。初めてこの大会に参加したのは1年生の時で、その時は実力不足で予選を通過することが出来ませんでした。それからインターネット上で開催されるいろいろな競技プログラミングの大会に出場したりして練習を重ねました。そして今回の予選では練習の成果を発揮し、本選に進むことができました。

本選には日本全国から参加者が集まります。参加者同士の交流も本選の目的の一つです。参加者の中には前回の日本代表や、いろいろな大会で好成績を収めているすごい人たちがたくさんいました。そういう人たちと会えたことだけでも非常に良い経験になったと思います。本選で出題された問題は予選のそれよりも難易度が高く、頭を捻らないと解けないような問題ばかりでした。本戦の結果、残念ながら私は日本代表選抜合宿に参加することは出来ませんでした。九州・沖縄ブロックの成績優秀者となることが出来ました。最後のチャンスでこのような成績を残すことができ嬉しく思います。

情報オリンピックはとても良い経験をすることができる大会です。興味を持った方は是非、参加してみてください。プログラミングラボ部では、競技プログラミングのための講座などを行っているので、情報オリンピックで上を目指したい人は是非入部することをおすすめします。

国立高等専門学校機構学生表彰

平成23年度国立高等専門学校機構理事長表彰
制御情報工学科4年 坂田 祐将
(プログラミングラボ部)

3月1日(木)、第5回アジア太平洋情報オリンピックで銅賞を受賞したことが国立高等専門学校の名誉を高めたとして、制御情報工学科3年(当時)坂田祐将さんが国立高等専門学校機構理事長表彰されることが決まりました。

これに関連して、3月28日(水)校長室において上田校長から賞状の伝達が行われました。

この表彰は、全国の高専生の中で、学業や研究で高い評価を受けたり、課外活動において国際的規模の競技会や国民体育大会等の全国的規模の競技会等で優秀な成績を収めたりして、国立高等専門学校の名誉を高めた学生や学生団体を、国立高等専門学校機構の理事長が表彰するもので、平成23年度は、全国26高専の学生19名と7団体が表彰されています。

